

- I. 日 時： 令和5年9月26日（火） 18：00～20：00
II. 場 所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会
II. 出席者： 片岡主査、神原委員、廣井委員、原島委員、山元委員、小原委員、中山委員、
二瓶委員、井端事務局長、森下主幹

III. 資料

- ① 次第
- ② 委員名簿
- ③ 各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオ制作検討資料）
- ④ 第1回委員会議事概要

IV. 議事概要

1. 各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオ制作）について

前回の議事概要を確認した後に、第2回委員会での検討を踏まえて作成した「③ 各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオ制作検討資料）」について検討を行った。

(1) 各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオ）の構成について

- ① ビデオは各パーツ（部分）5分から10分以内で構成しトータル50分程度にする。
- ② 現在の資料③はスライド61枚（未整理）なので見直しと整理を行う。
- ③ ビデオは初めから最後まで視聴する場合と興味のある項目を目次で直接視聴できるようにする。

(2) ビデオ制作の目的の再確認

今回のビデオの目的について以下の点を再度確認した。

- ① 本協会の委員会では、多職種の分野を持たない多くの医療系大学が多職種連携授業を行うのは難しいことから、この解決に向けてICTを活用して複数の大学と連携する「ICT活用による分野横断型遠隔授業」について6年間研究と実験を行った結果、新しい学びに向けた成果が認められた。
- ② 今回の医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムで「多職種連携能力」が取り上げられたが、1大学で多職種の分野を持たない大学が「多職種連携授業」を実施するのは困難であることから、多くの医療系大学が「多職種連携教育」に取り組む一つの方法として参考にさせていただきたく、6年間の研究と実験のノウハウを提供する。
- ③ その意味で、現在の資料③の多職種連携教育の説明や必要性の部分には触れない方がよい。
- ④ 重要なのは、多職種の分野を持たない大学がICTを活用してどう多職種連携教育をやるのか、ネット上で学生が議論する仕組み、異なる分野の学生が意見交換し、自分分野を他分野に説明する仕組みやそれを通じての気づきの紹介が重要であり、このためのプラットフォーム、ICTを活用したネット上で主体的に学ばせるための学生ガイド、ファシリテーションの工夫、振り返りシートの工夫などに加えてや授業運営のノウハウなどを紹介する。
- ⑤ 上記の視点で各パーツ（部分）5分から10分以内で再整理し 具体的に私情協がICTを活用して研究と実験を行ってきた、6年間の成果と課題、ノウハウを提供することに方向を絞る。
- ⑤ 実際の実験授業の時系列の中で「ここはこうした方が良い」、「ここではこういうことが大事ですよ」などの「ICTを活用したネット上で、学生に主体的に学ばせる」ノウハウを一つ一つ紹介する。学生ガイドや振り返りシートなどは、「詳細資料は〇〇に掲載」など必要に応じて詳細を掲載・紹介する。
- ⑥ そのため、現在の「③各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオ制作検討資料）」を見直し修正することにした。

(3) 資料③各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践（ビデオスライド）の見直し、修正について

現在のスライドから不要なものを整理し順番を整えて再整理する。

① **「その重要性和意義」 8枚の部分**

片岡先生に以下の視点で今回のビデオの制作と公表の意義を再整理して紹介いただく。

- ・ 本協会の委員会では、多職種の分野を持たない多くの医療系大学が多職種連携授業を行うのは難しいことから、この解決に向けてICTを活用して複数の大学と連携する「ICT活用による分野横断型遠隔授業」について6年間研究と実験を行った結果、新しい学びに向けた成果が認められた。
- ・ 今回の医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムで「多職種連携能力」が取り上げられたが、1大学で多職種の分野を持たない大学が「多職種連携授業」を実施するのは困難であることから、多くの医療系大学が「多職種連携教育」に取り組む一つの方法として参考にしていただきたく、6年間の研究と実験のノウハウを提供する。

② ~~授業の概要~~ の12枚の部分

片岡先生にお願いします。

- ・ ICT活用による分野横断型遠隔授業の目標、概要、進め方、学生ガイド、自己主導学修、プロブレムマップ、ポートフォリオなどの概要と実際を具体的に紹介し、「なるほどこうやれば良いのか」と実感してもらえるよう紹介する。

③ ~~授業の成果~~ 8枚の部分

片岡先生にお願いします。

- ・ 問題発見・整理、課題設定、多分野グループによる課題解決案、「分野横断型学修を実施してわかったこと」、学生アンケート、テキストマイニングの解析結果、分野横断型学修の成果を具体的に紹介し、「なるほど。こうやれば良いのか」と実感してもらえるよう紹介する。

④ ~~授業のプラットフォームとICT学修システム~~ 3枚の部分

二瓶先生にお願いします。

- ・ 分分野横断型遠隔授業のプラットフォーム、ICT学修システム、Googke スライド、Zoom-ホワイトボード、などネット授業のやり方を「ICTに疎い先生にも解る」ように具体的に紹介する。

⑤ ~~アイスブレイキングの工夫~~ 1枚の部分

小原先生にお願いします。

- ・ 対面でなく、ネット上でICTを活用して行うのでこの部分は重要であり、他分野の学生のお互いの専門分野の理解が重要なことを紹介する。
- ・ 実際のアイスブレイキングの映像を、ぼかして紹介できると効果的で良いが可能かどうか……？

⑥ ~~ファシリテーションの工夫~~ 16枚の部分

廣井先生に「ファシリテーションの基礎」として整理して紹介をお願いします

- ・ 4枚のスライド「ファシリテーションの工夫とポイント(1)と(2)(小原先生)、ファシリテーションで苦労したこと(原島先生)、ファシリテーションで良かったこと(中山先生)」の部分は「ICTでの苦労」、「ICTではこういう工夫も必要になる」として廣井先生のスライドの中に入れて紹介いただく。

⑦ ~~資料に提供と学修を深める工夫~~ 6枚、~~参加教員の声(感想と意見)~~ 3枚の部分

片岡先生にお願いします。

- ・ 授業の成果と課題の中に入れて紹介いただく。

2. 今後の予定について

- (1) 本日検討した内容を踏まえて各先生に10月6日を目処に見直し、修正していただく。(各委員)
- (2) 10月6日~13日の間に見直し、修正した内容をメーリングリストで委員間で確認し、その結果を踏まえて、各先生に音声を入れていただく。(各委員)
- (3) 10月13日迄に音声入りビデオを完成させ、委員会の委員だけが視聴できるYouTubeにアップして確認できるようにする。(二瓶先生にお願いします)
- (4) 10月28日(土)14:00から委員会でビデオを最終確認し公開する。

3. 次回委員会

10月28日(土)14:00 オンラインで完成したビデオの確認